

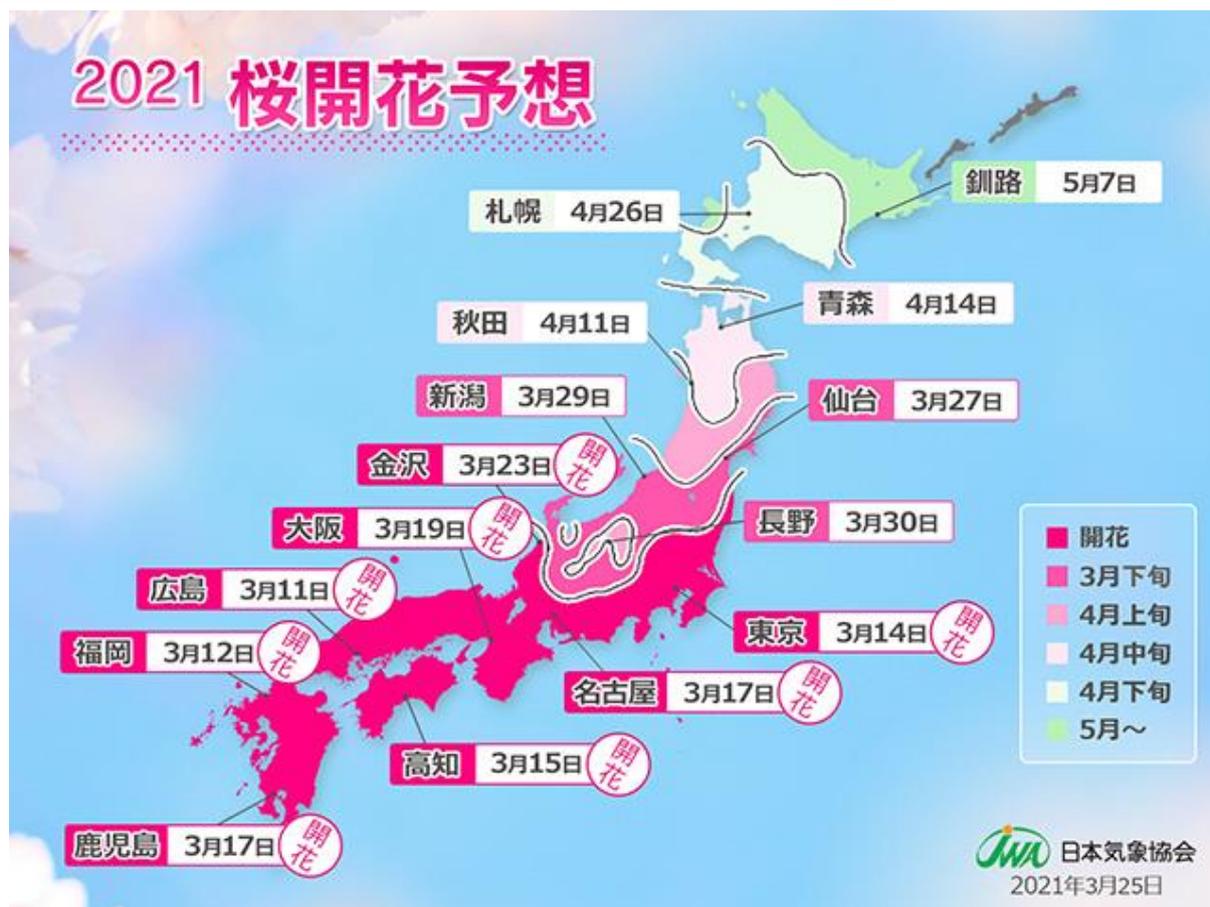
【報道関係各位】

2021年3月25日
一般財団法人 日本気象協会

2021年桜開花予想(第7回) 九州北部や東京で満開に 桜前線は東北南部まで到達

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 87 地点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第7回)を、2021年3月25日(木)に発表します。

■2021年開花予想前線図



福岡の標本木(3月22日撮影)

22日に満開となりました。多くの枝に桜の花がぎっしりと咲きほこり、福岡に暖かい春がやってきました。(※気象台の許可を得て撮影)



金沢の標本木(3月23日撮影)

澄んだ青空の下で、23日に開花しました。26日開花の最早記録を3日更新しました。





■2021年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

| | 地点 | 予想日 | 傾向 | 平年開花日 | 2020年 | 最も早い開花日 |
|------|------|---------|-------|-------|-------|-------------------------------|
| 鹿児島県 | 鹿児島市 | [3月17日] | かなり早い | 3月26日 | 4月1日 | 3月15日(2013年) |
| 福岡県 | 福岡市 | [3月12日] | かなり早い | 3月23日 | 3月21日 | 3月12日(2021年) |
| 高知県 | 高知市 | [3月15日] | かなり早い | 3月22日 | 3月24日 | 3月10日(2010年) |
| 広島県 | 広島市 | [3月11日] | かなり早い | 3月27日 | 3月22日 | 3月11日(2021年) |
| 大阪府 | 大阪市 | [3月19日] | かなり早い | 3月28日 | 3月23日 | 3月19日(2021年) |
| 愛知県 | 名古屋市 | [3月17日] | かなり早い | 3月26日 | 3月22日 | 3月17日(1990,1989,2021年) |
| 東京都 | 千代田区 | [3月14日] | かなり早い | 3月26日 | 3月14日 | 3月14日(2020,2021年) |
| 長野県 | 長野市 | 3月30日 | かなり早い | 4月13日 | 4月2日 | 4月2日(2002,2018,2020年) |
| 新潟県 | 新潟市 | 3月29日 | かなり早い | 4月9日 | 4月1日 | 3月30日(2002年) |
| 石川県 | 金沢市 | [3月23日] | かなり早い | 4月4日 | 3月26日 | 3月23日(2021年) |
| 宮城県 | 仙台市 | 3月27日 | かなり早い | 4月11日 | 3月28日 | 3月28日(2020年) |
| 秋田県 | 秋田市 | 4月11日 | かなり早い | 4月18日 | 4月8日 | 4月7日(2002年) |
| 青森県 | 青森市 | 4月14日 | かなり早い | 4月24日 | 4月17日 | 4月14日(2002,2015年) |
| 北海道 | 札幌市 | 4月26日 | かなり早い | 5月3日 | 4月30日 | 4月21日(2008年) |
| 北海道 | 釧路市 | 5月7日 | かなり早い | 5月17日 | 5月10日 | 5月6日(2015年) |

満開日

| | 地点 | 予想日 | 傾向 | 平年満開日 | 2020年 | 最も早い満開日 |
|------|------|---------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 鹿児島県 | 鹿児島市 | 3月27日 | かなり早い | 4月4日 | 4月19日 | 3月26日(2013年) |
| 福岡県 | 福岡市 | [3月22日] | かなり早い | 4月1日 | 4月2日 | 3月22日(2013,2021年) |
| 高知県 | 高知市 | [3月23日] | かなり早い | 3月30日 | 4月2日 | 3月19日(2018年) |
| 広島県 | 広島市 | 3月25日 | かなり早い | 4月4日 | 4月3日 | 3月27日(2002年) |
| 大阪府 | 大阪市 | 3月28日 | かなり早い | 4月5日 | 4月3日 | 3月26日(2018年) |
| 愛知県 | 名古屋市 | 3月27日 | かなり早い | 4月3日 | 4月1日 | 3月27日(1990,2018年) |
| 東京都 | 千代田区 | [3月22日] | かなり早い | 4月3日 | 3月22日 | 3月21日(2002年) |
| 長野県 | 長野市 | 4月5日 | かなり早い | 4月17日 | 4月13日 | 4月5日(2002年) |
| 新潟県 | 新潟市 | 4月3日 | かなり早い | 4月14日 | 4月7日 | 4月4日(2002年) |
| 石川県 | 金沢市 | 3月27日 | かなり早い | 4月10日 | 4月1日 | 4月1日(2002,2004,2020年) |
| 宮城県 | 仙台市 | 4月1日 | かなり早い | 4月16日 | 4月3日 | 4月3日(2002,2020年) |
| 秋田県 | 秋田市 | 4月15日 | かなり早い | 4月22日 | 4月15日 | 4月12日(2002年) |
| 青森県 | 青森市 | 4月19日 | かなり早い | 4月29日 | 4月21日 | 4月16日(2002年) |
| 北海道 | 札幌市 | 4月29日 | かなり早い | 5月7日 | 5月2日 | 4月25日(2002,2008年) |
| 北海道 | 釧路市 | 5月10日 | かなり早い | 5月20日 | 5月13日 | 5月8日(2015年) |

※予想日の[]はすでに開花、満開になった地点です ※()内の年はおおむね過去30年の最も早い開花日、満開日です

■開花と満開の傾向

22日に福島県・いわき市と福井、23日に金沢、24日に富山などで開花し、桜前線は北陸、東北地方へ到達しています。北陸3地点(福井、金沢、富山)では、そろって統計開始以来最早を更新しました。この先、仙台では27日に開花する見込みで、3月末までには東北北部にかけて広く開花するでしょう。4月に入っても桜前線は速いペースで進み、4月中旬には青森まで北上し、4月下旬に北の大地へ到達する見込みです。函館では4月25日、札幌は26日に開花するでしょう。

今週末から週明けは、先週と同じく全国的に雨が降る予報となっています。すでに満開を迎えてから数日経過している福岡や東京では、花散らしの雨になる可能性もあります。見ごろは今週末でしょう。まもなく満開を迎える地域では、今月いっぱいは見ごろとなる見込みです。



今年の桜は、冬の前半に厳しい寒さの日があり、休眠打破が順調に行われたこと、その後、季節先取りの暖かさの日が増えて、花芽の生長が促されたことで、開花が早くなっていると考えられます。

※ 桜の開花・満開の統計開始は 1953 年

※ 気温の統計開始は 1946/47 年

※ 休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

※ 気温が高い場合、元々温暖な地域は現在より開花が遅れ、元々寒冷な地域は現在より開花が早まる傾向があります

全 87 地点の桜の開花予想日はこちら：<https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年：1981～2010 年の平均値

かなり早い : 平年より 7 日以上早い

早い : 平年より 3 日から 6 日早い

平年並 : 平年との差が 2 日以内

遅い : 平年より 3 日から 6 日遅い

かなり遅い : 平年より 7 日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

| | | | |
|--------------|---------------|--------------|-------------|
| 第1回 1月28日(木) | 第2回 2月10日(水) | 第3回 2月25日(木) | 第4回 3月4日(木) |
| 第5回 3月11日(木) | 第6回 3月18日(木) | 第7回 3月25日(木) | 第8回 4月1日(木) |
| 第9回 4月15日(木) | 第10回 4月28日(水) | | |

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた(枝ではなく幹や根から咲く花は5～6輪に含めない)状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態(同時に咲いている状態である必要はない)となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:2月中は49地点、3月以降は全国で87地点の予想を発表します。予想地点87地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる34地点となります。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で15年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。